



御庄小だより

令和7年 2月号
岩国市立御庄小学校

第5弾 体育委員企画・運営「御庄長縄フェス」で心も体もぼっかぽか！

「なわとび大会」として行っていた活動を、今年はチャレンジプロジェクトのひとつとして実施しました。想像を超える運動量に、参加された皆様はさぞやお疲れになったことでしょう。どうしたら参加者全員が楽しくなわとびができるかを委員会児童が一生懸命考え、6年生全員が協力して支えました。だれもが思わず笑顔になってしまふ、温かなフェスになったことを嬉しく思います。ご参観いただいた皆様、本当にありがとうございました。



チャレンジプロジェクトをととても楽しみにしていました。まさか、あんなに跳ぶことになるとは思いませんでした。身体は温まるし、子供たちの良い顔は見れるし、とても楽しかったです。縄を3本通り抜けるチャレンジも皆ができることは何かと考えた高学年の様子が思い浮かび、そんな視点がもてるんだとしたらすごいと感動しました。6年生の背中を見て、息子たちが今後どんなことを成していくのか、未来がさらに楽しみになりました。

（参加された保護者の方からのお手紙です。学校アンケートの気づき欄にもチャレンジプロジェクトに関わる声を多数いただき、児童、教職員の励みになっています。）

学校保健安全委員会の開催

1月16日に開催した学校保健安全委員会では、「子どもたちの健やかな成長を育む生活習慣の形成～子どもたちの成長とクスリの効果・薬物が及ぼす身体への影響～」と題して学校薬剤師の瀬戸寛和先生からお話をうかがいました。生活習慣の乱れが学力や情緒の安定を含めた心身の成長に大きな影響を及ぼすということは、データなどからも実証されています。「携帯やSNSの普及で薬物との距離が近くなっている。6年生での薬物乱用防止教室は重要」「実験もあり、身近でわかりやすい話だったので子どもも一緒に聞けたらよい」など多様な視点から感想をいただきました。学校アンケートの気づき欄にも「スマホやYouTubeとの付き合い方など、デジタル機器のメリット・デメリットを低学年から教えてほしい。知識が無いまま身近にあり、目が悪くなったり寝不足になったりといったことをよく聞く」とのご意見をいただきました。メディアとの付き合い方が生活習慣の形成に大きく関わっている昨今です。こうした課題に対して子どもも大人も学ぶ場を設けていきたいと考えています。学校保健安全委員会の詳しい内容については、保健便りに掲載します。是非ご一読ください。

不審者対応避難訓練

毎年、安全サポーターの岩中さん、師木野駐在所の古谷さんを講師に不審者対応訓練を実施しています。今年も不審者が侵入した際の動きや声をかけられた時の対応について一緒に考えました。教職員は、「さすまた」や「防犯盾」の基本的な使い方についても教わりました。

書き初め大会

